令和6年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室:福祉子ども部医療福祉総務室

※市民の方に概要がわかるよう、必要に応じて、枠を広げて記載してください。

1 管理運営の状況等

(1)施設名	名張市老人福祉センター「ふれあい」
(2)指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79番地
(3)施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	令和6年度 年間延べ利用者数 8,597 人 開館日数 301 日 ※台風 10 号接近により 8 月 31 日計画的に臨時休館しました。
(4)市支出額	指定管理料 30,279,000 円
(5)管理運営の状況	①管理施設の管理運営に関する業務 ②生きがい活動、趣味活動、日常訓練に関する業務 ③福祉バスの運行管理に関する業務 ④管理施設の設備及び備品の管理に関する業務 ⑤保健及び福祉等の関係機関との連携

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	市より名張市総合福祉センターふれあいの見直しの方針が示されたことに伴い、医療福祉総務室より利用者への説明会を3月に2回行いました。また、福祉バスの運行が3月末で終了することについて、周知のため医療福祉総務室と連携し福祉バス、バス停へ案内チラシを掲示しました。
	利用者アンケート調査を行いました。アンケート調査票配布 183 名、回収 157 名(回収率 85.7%) アンケート結果、利用者の声を、市へ報告しました。
	(1)利用者の平等な利用の確保 【福祉バスの運行】福祉バスの運行は、月・火・水・金に地区別に曜日指定で運行しました。市の方針により、3月31日で運行は終了しました。 【平等利用】 ○施設内の限られた機器や設備を公平に利用して頂けるよう対応しました。ビリヤード、ヘルストロン、マッサージ機器、健康麻雀、囲碁・将棋、カラオケなど新規の利用者も気軽に参加し、楽しめるように声かけを行い、お互いが気持ちよく利用できるように目を配り対応しました。 ○自主的なサークル活動は、日程調整を行い、他の事業を重ならないように活動を支援しました。 ○ローテーションで勤務していますので、職員による対応の違いが生じないよう、申し送りをし情報共有

に努めました。

○利用者の意見・要望のために意見箱を置いています。また、職員は、利用者との日常対応のなかでの意見や要望を気軽にいつでももらえるような対応をこころがけ、耳を傾け業務・サービスの向上につなげています。

(2)障害者・高齢者等への配慮

・老人福祉センター「ふれあい」は、老人福祉法に則る社会福祉施設であり、65歳以上の高齢者はもちろんのこと、土曜日には障害者の方も利用できることから、安心・安全な利用ができるよう対応しています。

【利用者の安全管理】

・受付に職員は常駐し、利用料の徴収、利用者対応を行い、円滑に利用ができるようにしています。また、随時、気軽に暮らしの不安、健康の相談ができるようにしています。

・入館時の記帳が、困難な方には聞き取り代筆します。

・シルバーカー、歩行器、車椅子等を設置し、必要に応じ活用してもらっています。

・利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安がある方、物忘れがある方など、利用時も見守りが必要となる方が増加しており、利用時の継続的な見守りや声かけを行っています。

・体調不良を訴える方(又は体調の悪そうな方)や普段の様子と違う方(元気がない方)等に対して、声かけ相談、バイタルチェックを行い、本人同意のもと家族や専門機関への連絡調整、情報提供を行っています。状況によっては連携し継続的な見守りを行っています。

・AEDを設置しており、急変時の対応に備えています。日々、チェックを行っています。

・体調不良をおこした方がおられ、救急車の要請を2件行いました。(救急対応及び体調不良があった場合はその後の状況について必要に応じて確認しています)

・必要時には、家族や他の関係機関(地域包括支援センター、まちの保健室、生活支援係、介護保険事業所など)と情報交換しながら利用を見守っています。

・福祉バスについて、優先的にノンステップバスの走行がされています。また、帰宅時のバスについては事前にアナウンスをすることはもちろんのこと、乗り遅れてしまう方がないように施設内の確認と声かけを行っています。火曜日の帰宅時のバスのアナウンスはデイサービス利用者さんの参加活動目的で行っていただいています。

・インフルエンザ等の流行時期には、感染予防のためのポスターやチラシで啓発、声かけし周知しました。

・総合福祉センターふれあいの消防訓練に参画し、消防設備の確認と避難誘導訓練を行いました。(ヘルメット、懐中電灯、屋外避難用スリッパを設置しています)

【利用環境の整備・施設設備の利活用】

・基本的感染対策で、換気、窓の開放・サーキュレーター・扇風機の利用や温湿度管理、加湿器、エアコンの使用などで調節しました。

・利用者が衛生的に施設や備品を使用できるように、清潔の保持に努めています。日常的な清掃とともにアルコールや次亜塩素酸による消毒を行いました。

・障害者用トイレは、ウォシュレット付き便座となっています。

・男性用トイレにもサニタリーボックスを設置しています。

<p>施設効用の最大限発揮(利用促進、利用者増など)に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧の自己管理ができるように血圧計を設置しています。 ・教養娯楽室にはテーブル椅子を多く配置し、低い机にも座椅子を設置しています。 ・シルバーカー、歩行器、車椅子等を設置し、必要に応じ活用してもらっています。車椅子など点検を行い、安全に利用できるようにしています。 ・湯茶の提供を紙コップの利用で行いました。 ・利用者の買い物や昼食のお弁当の持参に対応して、食品の保存のため冷蔵庫を利用してもらっています。 ・ポットにお湯を沸かし、昼食のカップ麺などに自由に使用できるようにしています。また、お弁当の温め等に利用していただけるように電子レンジを設置しています。 <p>(1)啓発</p> <p>【利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用案内チラシの配布(介護・高齢支援室の協力による毎月介護保険証新規交付時に同封) (送付された案内チラシを持参して見学に来られ利用につながっています) ・利用案内チラシを 地域福祉係と連携し民生児童委員、市民センター、まちの保健室等へ配布しました。 ・利用の問い合わせなどでは、施設理解のために見学をすすめ利用につなげました。 ・休館などについて、ホームページや問い合わせで確認いただくよう周知しています。 <p>※台風接近に伴う8月31日の臨時休館では、社会福祉協議会ホームページに掲載や施設内掲示しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方が可能な限り現金を持ち歩くことを少なくするために回数券をカード化した「ふれあいカード」があり、利用促進のために利用済みカードを応募券として月1回「お楽しみ抽選会」を行っています。当選者には1日無料利用券を発行しています。 ・介護や付き添いが必要な方の利用促進のため、介護者や付き添い者の利用料金減免を行っています。 <p>(2)事業の実施</p>
	<p>①生きがい活動支援通所事業</p> <p>②介護予防事業</p> <p>※各事業実績については、別紙「令和6年度老人福祉センター事業実績報告書」を参照してください。</p>
<p>施設の適切な維持管理及び経費節減への取組</p>	<p>当施設設置機器の特性から日常点検を行い、経年劣化した設備、機器の故障や汚損個所の把握に努め必要時には修理対応しました。洗濯室蛇口パッキン3か所</p> <p>日常的な経費削減の取り組みとして、利用時間や利用状況に合わせて不必要な電源は切っています。</p>
<p>施設管理を的確に行う人員配置・職</p>	<p>高齢者や障害者が利用される社会福祉施設であり、日常業務における運営は保健師、介護員(介護福祉士、ヘルパー2級の資格をもつ)を配属して、施設管理や相談援助などを行いました。</p> <p>介護予防事業の「マシン教室」の実施においては、デイサービス介護員と「介護予防運動指導員」の資格を持つ、介護員、保健師と連携実施するとともに介護員への次世代育成の指導を行いました。また</p>

員研修等への取組	「スクエアステップ教室」の実施においても、スクエアステップリーダー(ボランティア)の活動を「スクエアステップ指導員」の資格をもつ介護員、保健師が地域福祉係(ボランティアコーディネーター)と連携し支援しました。
----------	--

3 施設管理者(名張市)評価

指定管理に基づく業務を適切に実施されている。引き続き市民の皆様に安心して利用していただける施設管理・運営を行っていただきたい。ホームページ等を活用した現状に即した情報発信などにより、今後も利用者への様々な配慮のもと、より一層のサービス向上に努められたい。

名張市老人福祉センター「ふれあい」の管理に関する業務の収支決算書(令和6年度)

(単位:円)

区分	項目	予算額	決算額	内訳等
収 入	市受託金収入	30,279,000	30,279,000	老人福祉センター指定管理料
	利用料収入	1,687,000	1,670,350	センター利用料
	受取利息配当 金収入	10,000	60	
	雑収入	0	1,310	実習謝礼
	収入合計(A)	31,976,000	31,950,720	
事 業 支 出	人件費支出	4,253,000	3,953,539	職員給料 907,509 退職給付引当資産 54,000 職員賞与 194,194 法定福利費 542,006 非常勤職員給与 2,255,830
	事業費支出	27,313,000	26,720,324	水道光熱費 6,475,045 損害保険料 36,000 保健衛生費 11,900 修繕費 11,000 消耗品費 63,297 広報費 59,400 器具什器費 0 業務委託費 19,561,426 賃借料 406,560 教養娯楽費 95,696
	事務費支出	438,000	331,457	福利厚生費 5,795 研修研究費 0 消耗品費 24,200 租税公課 20,400 通信運搬費 42,060 業務委託費等 211,000 手数料 14,413 職員被服費 0 保険料 13,589 雑支出 0
	負担金支出	36,000	48,100	法人税、住民税及び事業税支出
	支出合計(B)	32,040,000	31,053,420	
	収支 (A)-(B)	△ 64,000	897,300	

※予算額は最終補正予算額

令和6年度老人福祉センター事業実績報告

名張市社会福祉協議会

1. 老人福祉センター指定管理事業

老人福祉センター「ふれあい」において、基本的感染対策を継続し「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。

令和7年度からの老人福祉センター「ふれあい」のあり方の変更の方針に伴い、1年間の指定管理の延長があり、継続して管理運営を行いました。前期には利用者アンケートを行い、利用者の声を聴く機会を設けました。後期においては次年度に実施予定の、高齢者の生きがい・健康づくりを目的とした事業の検討及び準備を行いました。

①老人福祉センター管理運営事業

利用状況

	令和6年度	令和5年度	比較増減
開館日数	301日	297日	4日
年間延べ利用者数	8,597人	8,181人	416人
(月平均)	716人	682人	34人
浴室利用者数	0人	601人	▲601人
福祉バス利用者数	4,997人	4,837人	160人

※8月31日台風の接近予想のため休館

②生きがい活動支援通所事業

ア. 事業実績

基本事業	内容・実績		
見守り・安全管理	利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安のある方、物忘れのある方など、見守りが必要な利用者も増加しており、随時必要に応じた声かけ・相談を行っています。 AEDを配置しており、日々確認を行っています。		
鑑賞機会の開催	利用者の楽しみを増やし、気軽に参加できるように実施しました。		
	映画会	歌、演劇の上映	4～1月に各1回（月～土） 延べ120名
	歌おう会	サクソと歌	実施日数：1日 延べ27名
	芸能発表会	サクソ	実施日数：1日 延べ36名
		フラダンス	実施日数：1日 延べ36名
カラオケ大会	歌謡ショー	実施日数：2日 延べ172名	
ふれあいカード抽選会	10回利用後のふれあいカードを応募券に当選者には1日利用無料券で利用でき、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月、1回 延べ373名	
各種講座の開催	身近な生活での困りごとの啓発や転ばぬ先の杖として、また、健康に役立つ講座を開催しました。		
	人権啓発	実施日数：1日 延べ20名	
	介護教室	実施日数：2日 延べ41名	

	笑いヨガ（地域福祉係と協働）	実施日数：1日 延べ11名																		
創作活動	創作による楽しみに、気軽に参加できるようにしました。																			
	お湯のみ盆栽	実施日数：1日 延べ9名																		
	ものづくり教室	実施日数：4日 延べ28名 ※1回地域福祉課と協働実施																		
各種発表会の開催	利用者の練習成果の発表や交流の機会を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため開催しました。																			
	ビリヤード大会	9月7日（土） 参加者：11名																		
	七ツカラオケ大会	7月13日（土） 参加者：44名																		
	新春カラオケ大会	1月11日（土） 参加者：50名																		
	曜日別カラオケ大会	9月16日（月）～20日（金） 参加者：71名																		
		3月24日（月）～28日（金） 参加者：86名																		
芸能発表会	12月14日（土） 参加者：7組																			
自主サークル活動及び趣味活動	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サークル名</th> <th>回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラオケ教室</td> <td>24回</td> <td>181名</td> </tr> <tr> <td>いきいき書道クラブ（漢字・かな）</td> <td>12回</td> <td>126名</td> </tr> <tr> <td>レクレーションサークル</td> <td>12回</td> <td>179名</td> </tr> <tr> <td>英語サークル</td> <td>12回</td> <td>98名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60回</td> <td>584名</td> </tr> </tbody> </table>		サークル名	回数	延参加者数	カラオケ教室	24回	181名	いきいき書道クラブ（漢字・かな）	12回	126名	レクレーションサークル	12回	179名	英語サークル	12回	98名	計	60回	584名
	サークル名	回数	延参加者数																	
カラオケ教室	24回	181名																		
いきいき書道クラブ（漢字・かな）	12回	126名																		
レクレーションサークル	12回	179名																		
英語サークル	12回	98名																		
計	60回	584名																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>趣味活動</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビリヤード</td> <td>1,592名</td> </tr> <tr> <td>マーじゃん</td> <td>1,100名</td> </tr> <tr> <td>囲碁・将棋</td> <td>191名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,883名</td> </tr> </tbody> </table>		趣味活動	延参加者数	ビリヤード	1,592名	マーじゃん	1,100名	囲碁・将棋	191名	計	2,883名									
趣味活動	延参加者数																			
ビリヤード	1,592名																			
マーじゃん	1,100名																			
囲碁・将棋	191名																			
計	2,883名																			
基本的感染症対策を行った利用	<p>基本的感染対策を行い実施しました。</p> <p>●入館時 顔認証体温計・手指消毒の設置を継続しました。また、入館受付票で体調の確認を継続しました。</p> <p>●施設管理・利用 換気、温湿度管理を行い、利用後のアルコール消毒を継続、教養娯楽室のテーブルでの飲食後の消毒は利用者の協力を得て行いました。職員は、咳エチケットからマスクを着用しました。 湯茶の提供は、紙コップでの提供としています。 カラオケルームの利用は空気清浄付き加湿器を設置、時間、人数制限を継続して行い、使用後マイクの消毒は利用者の協力を得て行いました。</p>																			

イ. 地域活動との連携等

内 容
地域福祉係との協働で「ものづくり教室」実施
地域福祉係との協働で「笑いヨガ」の実施
名張市社協「ふれあいフェスティバル」に施設利用管理に協力

ウ. 利用促進

利用案内チラシの配布	毎月介護保険証新規交付時に同封 地域福祉係協力による民生児童委員等への配布
館内ポスター掲示	老人福祉センター案内ポスターを作成・掲示
社協ホームページ・広報	イベント、教室等の周知、予定案内の掲載、

2. 介護予防事業

①介護予防に関する知識の普及啓発

メニュー	内容
啓発チラシの配布	介護予防健康づくりに関する啓発チラシを配布・ポスター掲示
脳トレプリントの配布	認知機能維持を目的に、数独や漢字ドリル、間違探しにチャレンジできるよう毎週更新したプリントを配布しました。

②利用者の状態把握

内 容	内容
入館時の健康チェック	入館時の体調チェックを行いました。
健康相談	希望者に随時健康相談に応じました。
介護予防手帳の配布	一般マシン・トレーニング教室初回参加者、身体測定の日 にフレイル予防に関する取り組みや身体状況が記録でき、 フレイル意識の向上と参加者の状態把握に努めました。
体力測定の実施	一般マシン・トレーニング教室の初日に体力測定を行い、 身体機能の理解とフレイル予防意識の向上に努めました。
身体測定の日	フレイル予防の意識向上を目指して身体状況をチェック する機会としました。

③介護予防に係る運動等、介護予防に関する教室の通年実施

メニュー	内容	備考
一般マシン・トレーニング教室 (基本) (追加)	(基本) 1クール7回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施(月～金曜日に実施)しました。 (追加) マシン教室経験者を対象に、1日追加してマシン・トレーニングを実施できるようにしました。	実施日数：219日 延べ 3,195名 実施日数：78日 延べ 128名
体力測定	(基本) 参加初日に体力測定6種を実施しました。	延べ 599名

スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー（ボランティア）の協力を得て実施しました。	実施日数：35日 延べ 321名
体操の時間	身体機能の低下を予防するため、気軽に利用時に体を動かす機会を提供しました。	実施日数：231日 延べ 1,720名
身体測定の日	利用者自身が自身の健康に目を向ける機会として握力、体重、身長を測定しました。	実施日数：1日 延べ 10名

④担い手としての参加促進

内 容		回数	延べ協力者数
フレイル予防サポーター (介護予防事業)	スクエアステップ教室	35回	73名
	マシン教室（体力測定）	14回	14名

⑤地域の多様な主体との連携及び関係団体との連携による専門職の関与

メニュー	内容
デイサービス介護員と連携	デイサービス介護員と協力してマシン・トレーニング教室の実施：67日
生活支援コーディネータ及びボランティアコーディネーターと連携	地域福祉係と協力したフレイル予防サポーターの活動支援 スクエアステップ教室：活動日数：35日：延べ73名 マシン教室体力測定補助：活動日数：14日：延べ14名